



## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月12日

上場会社名 ソマル株式会社  
 コード番号 8152 URL <http://www.somar.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) F&A部長  
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 曾谷 太  
 (氏名) 今井原 俊彦  
 配当支払開始予定日

TEL 03-3542-2152  
 平成24年12月10日

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	12,178	1.3	△383	—	△405	—	△370	—
24年3月期第2四半期	12,018	△11.6	0	△99.7	△33	—	△58	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △491百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △168百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△19.06	—
24年3月期第2四半期	△3.00	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	25,664	13,029	50.8
24年3月期	26,253	13,618	51.9

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 13,029百万円 24年3月期 13,618百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
25年3月期	—	5.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,920	2.0	△800	—	△850	—	△820	—	△42.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P4「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	19,587,349 株	24年3月期	19,587,349 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	139,853 株	24年3月期	138,933 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	19,447,817 株	24年3月期2Q	19,451,581 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
(6) セグメント情報等 .....	10
(7) 重要な後発事象 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要や9月まで続いたエコカー補助金等を背景に持ち直しの動きが見られましたが、長期化する欧州の債務危機問題や中国をはじめとする新興国での景気減速の鮮明化、更には、長引く円高の影響などで、景気の先行き懸念が一段と強まる厳しい状況が続きました。

こうした状況下、当社グループでは、震災以降に生じた関係業界での様々な変化に迅速に対応していくため、顧客との意思疎通に努め、更には、新興するアジア地域を主体とするグローバルな顧客への販売活動を加速させると共に、一方では、最適なサプライチェーンの観点からグローバルな生産体制の強化と効率化に継続して取り組み、また、新規製品の開発にも鋭意努めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高が121億7千8百万円（前年同四半期比1.3%増）となりました。利益面では、製造子会社ソマテック株式会社における初期投資の影響もあって、営業損失が3億8千3百万円（前年同四半期は営業利益0.7百万円）、経常損失が4億5百万円（前年同四半期は経常損失3千3百万円）、四半期純損失が3億7千万円（前年同四半期は四半期純損失5千8百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## [高機能材料事業]

高機能材料事業は、厳しい市場環境の中で、電子部品や自動車部品の業界が震災やタイでの洪水被害から立ち直りを見せたことを受け、関連製商品の販売が回復してきました。中でも、スマートフォン市場の拡がりを反映して関連需要が堅調に推移し、当社のオリジナル開発製品などの販売が伸張しました。しかし一方では、震災以降に各社が進めてきたリスク対策強化などによって関連業界で様々な変化が起こり始め、それに伴って生じた業界での需要構造変化が当社の減収要因につながったものも発生しました。その結果、当事業全体の売上高は86億9千3百万円（前年同四半期比1.6%増）となりましたが、利益面では当事業の強化に向けて実施したソマテック株式会社での初期投資の影響で、営業損失が3億3千6百万円（前年同四半期は営業利益7千2百万円）となりました。

## (主な製商品群の概況)

製商品群	概況（数値は前年同四半期との対比）
コーティング製品	電子・精密機器向け需要が震災等による落込みから徐々に回復し、更に、スマートフォン向け需要が堅調に推移したため、7.4%の増収となりました。
高機能樹脂製品	特に自動車部品業界向け需要が震災復興と政府支援で回復し、海外生産拠点からの顧客への製品供給体制も整備が進んで、8.4%の増収となりました。
電子材料	電子機器向け需要はかなり回復を見せたものの、重電・自動車業界向け需要は震災後の需要構造変化を受けて落込み、0.1%の減収となりました。
機能性樹脂	電子回路基板や家電製品関連の樹脂需要が、エコポイント制度の打ち切りや震災以降の消費マインド停滞で需要が回復せず、7.4%の減収となりました。

## 〔環境材料事業〕

環境材料事業は、関係する製紙業界で国内需要が低迷し、これに加えて円高や輸入紙の増大といった背景から製紙事業の合理化や再構築が進んでいるため、当社製商品の販売においても競合が進み厳しい状況が続いています。そうした中で、当四半期においては、震災で停止した製紙工場が順次生産を再開してきたことを受けて、当社独自の開発製品の販売強化や新たな製紙分野への拡販にも注力して増収に努め、更には、拡大する中国市場の新たな開拓にも鋭意取り組んでまいりました。しかし一方では、製紙会社の合理化対策の結果として当社商品に対する需要がなくなり、当該商品の売上を大きく減少させる要因も発生しました。その結果、当事業全体の売上高は26億8千8百万円（前年同四半期比11.3%減）、営業損失が1千6百万円（前年同四半期は営業利益2千3百万円）となりました。

## （主な製商品群の概況）

製商品群	概況（数値は前年同四半期との対比）
ファインケミカルズ	厳しい競合状況下で減収となった製品もありましたが、製紙工場の震災復旧に伴う需要の回復と新たな需要開拓で、19.7%の増収となりました。
製紙用化学品	塗工紙の輸入増大と減産で塗工用バインダーの需要が減少したことや、一部商品が販売終了した特殊要因も加わって、16.9%の減収となりました。

## 〔その他の事業〕

その他の事業は、主体の食品材料が引続く個人消費の低迷や円高によるデフレ圧力が続いているため、依然として厳しい状況に置かれています。そのため、顧客ニーズに関わる情報の収集に鋭意努めると共に、顧客に対するきめ細かなサービスの提供と拡販に継続して取り組んでまいりました。当四半期においては特に天然の増粘安定剤が供給タイトな状況下で仕入価格の高騰が続いたため、価格に対する厳しい市場環境ではありましたが、それに見合った販売価格の値上げにも努めました。一方、保存食品向けの食品材料は前年同四半期に見られた震災直後の特需が収まってきたことで販売は微減となりました。その結果、当事業全体の売上高は7億9千6百万円（前年同四半期比84.8%増）、営業利益は1億1千8百万円（前年同四半期比75.5%増）となりました。

## （2）連結財政状態に関する定性的情報

## （資産）

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は146億8千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億1千2百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が3億9千8百万円、たな卸資産が3億4千万円増加したものの、現金及び預金が7億9千2百万円減少したことによるものであります。固定資産は109億8千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億7千6百万円減少いたしました。これは主に投資有価証券が3億6千5百万円、建物及び構築物が9千5百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、256億6千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億8千8百万円減少いたしました。

## （負債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は67億3千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億6千4百万円減少いたしました。これは主に1年内返済予定の長期借入金が6億円減少したことによるものであります。固定負債は59億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億6千5百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、126億3千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ0.2百万円増加いたしました。

## （純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は130億2千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億8千8百万円減少いたしました。これは主に為替換算調整勘定が6千3百万円増加したものの、利益剰余金が4億6千7百万円（3億7千万円の四半期純損失の計上、9千7百万円の剰余金の配当による減少）、その他有価証券評価差額金が1億7千6百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は50.8%（前連結会計年度末は51.9%）となりました。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比較して、7億9千2百万円減少して、42億4千万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、1億5千7百万円の資金増加(前年同四半期は3億9千2百万円の資金減少)となりました。その主な要因は、仕入債務が5億6千6百万円増加したこと、減価償却費を5億6千5百万円計上したこと、税金等調整前四半期純損失を4億7千万円計上したこと、及び売上債権が3億9千1百万円増加したことによるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、8億9千1百万円の資金減少(前年同四半期は16億9千7百万円の資金減少)となりました。その主な要因は、有形固定資産の取得として8億8千5百万円支出したことによるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、9千7百万円の資金減少(前年同四半期は9億2百万円の資金増加)となりました。その主な要因は、長期借入金の借入れを6億円実行したこと、長期借入金の約定返済により6億円支出したこと、及び配当金として9千7百万円を支出したことによるものです。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年11月5日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

## 会計方針の変更

## (減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,033,003	4,240,854
受取手形及び売掛金	7,634,055	8,032,934
たな卸資産	1,758,242	2,099,158
その他	376,377	314,988
貸倒引当金	△7,980	△6,310
流動資産合計	14,793,699	14,681,625
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,937,487	3,841,615
機械装置及び運搬具(純額)	2,165,045	2,169,080
土地	1,774,103	1,776,412
建設仮勘定	10,301	100
その他(純額)	150,748	138,060
有形固定資産合計	8,037,687	7,925,268
無形固定資産		
投資その他の資産	271,229	240,513
投資有価証券	1,776,103	1,410,474
その他	1,863,190	1,895,231
貸倒引当金	△488,352	△488,202
投資その他の資産合計	3,150,942	2,817,503
固定資産合計	11,459,859	10,983,285
資産合計	26,253,559	25,664,910
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,947,342	4,516,549
短期借入金	400,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	1,600,000	1,000,000
未払法人税等	20,969	26,168
賞与引当金	123,819	146,671
その他	1,105,363	643,282
流動負債合計	7,197,494	6,732,673
固定負債		
長期借入金	5,000,000	5,600,000
退職給付引当金	227,509	189,165
役員退職慰労引当金	42,367	46,887
資産除去債務	63,338	63,597
その他	104,835	3,517
固定負債合計	5,438,050	5,903,168
負債合計	12,635,545	12,635,841

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,115,224	5,115,224
資本剰余金	4,886,268	4,886,268
利益剰余金	3,988,494	3,520,544
自己株式	△45,672	△45,840
株主資本合計	13,944,314	13,476,197
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	139,796	△36,799
繰延ヘッジ損益	6,182	△1,319
為替換算調整勘定	△472,280	△409,009
その他の包括利益累計額合計	△326,301	△447,128
純資産合計	13,618,013	13,029,068
負債純資産合計	26,253,559	25,664,910



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	12,018,403	12,178,825
売上原価	10,641,789	10,842,662
売上総利益	1,376,613	1,336,162
販売費及び一般管理費	1,375,904	1,720,125
営業利益又は営業損失(△)	708	△383,962
営業外収益		
受取利息	6,678	5,451
受取配当金	16,021	15,747
その他	11,065	6,520
営業外収益合計	33,765	27,719
営業外費用		
支払利息	33,576	29,343
債権売却損	2,657	2,428
為替差損	30,177	12,502
その他	1,579	4,759
営業外費用合計	67,991	49,034
経常損失(△)	△33,517	△405,277
特別損失		
固定資産売却損	620	—
固定資産除却損	5,023	150
投資有価証券評価損	7,848	65,336
特別損失合計	13,491	65,487
税金等調整前四半期純損失(△)	△47,008	△470,764
法人税、住民税及び事業税	7,987	12,544
法人税等調整額	3,386	△112,600
法人税等合計	11,373	△100,056
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△58,382	△370,707
四半期純損失(△)	△58,382	△370,707

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△58,382	△370,707
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△58,460	△176,596
繰延ヘッジ損益	△4,721	△7,501
為替換算調整勘定	△46,849	63,270
その他の包括利益合計	△110,032	△120,827
四半期包括利益	△168,414	△491,535
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△168,414	△491,535
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△47,008	△470,764
減価償却費	304,035	565,996
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,755	△1,820
賞与引当金の増減額(△は減少)	△7,049	22,852
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△41,713	△38,343
受取利息及び受取配当金	△22,699	△21,199
支払利息	33,576	29,343
固定資産売却損益(△は益)	620	—
固定資産除却損	5,023	150
投資有価証券評価損益(△は益)	7,848	65,336
売上債権の増減額(△は増加)	222,942	△391,534
たな卸資産の増減額(△は増加)	△310,689	△337,907
仕入債務の増減額(△は減少)	△454,567	566,832
その他	△24,374	169,411
小計	△338,812	158,354
利息及び配当金の受取額	22,730	21,199
利息の支払額	△33,691	△28,347
法人税等の支払額	△42,985	△9,566
法人税等の還付額	—	15,687
営業活動によるキャッシュ・フロー	△392,759	157,328
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,690,870	△885,122
有形固定資産の売却による収入	20,000	—
無形固定資産の取得による支出	△17,700	△8,227
投資有価証券の取得による支出	△633	△928
その他	△8,057	2,504
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,697,262	△891,773
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	1,000,000	600,000
長期借入金の返済による支出	—	△600,000
自己株式の取得による支出	△545	△167
配当金の支払額	△96,974	△97,590
財務活動によるキャッシュ・フロー	902,479	△97,757
現金及び現金同等物に係る換算差額	△15,776	40,054
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,203,318	△792,149
現金及び現金同等物の期首残高	7,382,132	5,033,003
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,178,813	4,240,854

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	高機能材料 事業	環境材料 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,557,392	3,029,788	11,587,181	431,221	12,018,403
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,557,392	3,029,788	11,587,181	431,221	12,018,403
セグメント利益又は損失(△)	72,126	23,990	96,117	67,404	163,521

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品関連素材の輸入販売等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	96,117
「その他」の区分の利益	67,404
全社費用(注)	△162,813
四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)	708

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	高機能材料 事業	環境材料 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,693,042	2,688,911	11,381,954	796,870	12,178,825
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,693,042	2,688,911	11,381,954	796,870	12,178,825
セグメント利益又は損失(△)	△336,928	△16,477	△353,405	118,315	△235,090

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品関連素材の輸入販売等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△353,405
「その他」の区分の利益	118,315
全社費用(注)	△148,872
四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)	△383,962

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。